

「JENESYS2022」第1回日中高校生オンライン交流の記録

1. オンライン交流概要

【目的】

本交流は、コロナ禍下で対面での交流が叶わない中、日本と中国の高校生がオンラインによる交流を行ったものです。高校生ならではの視点・感性を活かしながら、お互いの国・地域や学校生活の紹介、グループテーマをめぐってのディスカッション等の交流活動を通じ、相互理解と友好促進を図ることを目的としました。

【参加者】中国（西安市鉄一中学、陝西省丹鳳中学）の高校生 30 名

日本（大阪府立門真なみはや高等学校）の高校生のべ 103 名（グループ交流 53 名・パフォーマンス交流 50 名）

【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応（参加者の人数実績）
2022 年 10 月 26 日 大阪府	【グループ交流】 ① 日本側学校紹介 ② 中国側代表挨拶、学校紹介 ③ グループ交流 （6 グループに分かれて自由交流） ※各グループ日中学生リーダーの進行のもと、自己紹介を行った後に、互いに「高校生の間で流行っているもの」を紹介	日本側は校門や食堂など複数の場所からカメラを繋いで校内の様子を紹介し、中国側は PPT や写真資料を使いながら学校行事や校内施設について紹介しました。 グループ交流では北京オリンピックのマスコット人形や人気俳優などをスマートフォンで見せ合いながら、互いの国の流行について理解を深め、心の距離を縮めることができました。 （参加者：中国側 30 名、日本側 53 名）
	【パフォーマンス交流】 ① 日本側生徒代表挨拶 ② 日中パフォーマンス披露 日本側：吹奏楽部演奏、柔道部の紹介、ダンス部ソーラン節披露 中国側：歌唱、中国風（ダンス、書、竹笛等）、ダンス ③ 日中学生感想発表（4 名）	中国側は歌やダンス、中国書道等を紹介し、日本側は賑やかな吹奏楽の演奏や、迫力ある柔道の技を披露しました。パフォーマンス交流の最後には、日中高校生が全員一緒になってソーラン節を踊り、心をひとつにして盛り上がりました。 （参加者：中国側 30 名、日本側 50 名）

2. 記録写真

	
短い時間でも積極的に交流	日本高校生が柔道の技を披露

3. 中国高校生の感想（抜粋）

◆西安市鉄一中学 高校生

このイベントに参加する前、日本の学生はシャイだと思っていました。実際はとても明るく、おおらかで、大きな声で話し、みんな笑顔で学校紹介をしていました。日本では「高中」のことを「高等学校」、「初中」のことを「中学」と呼びます。最後の3つの演目はとても素晴らしく、柔道にはとても驚かされ、また彼らの文化、風習を感じることができました。私にはとても大きな収穫でした。

◆西安市鉄一中学 高校生

グループディスカッションでは、日本の同年齢の学生たちの間で流行っていることを知ることができ、私たちの流行についても紹介しました。余暇の過ごし方についても互いにとても興味を持ちました。パフォーマンスの発表では、日本の歌舞や柔道への理解が深まり、面白いと思いました。

◆西安市鉄一中学 高校生

日本の学生はとても熱心でした。彼らは自己紹介のとき、全員が中国語で最初に「大家好」、最後に「謝謝」と言っていました。彼らが今回のイベントを大切に思っていることがわかりました。

◆陝西省丹鳳中学 高校生

国によって文化の違いはありますが、高校生の間で流行っていることは大体同じで、とても興味深く、互いに勉強になりました。

◆陝西省丹鳳中学 高校生

日本の踊りはとても面白くて、日本の学校生活はとても充実していると思いました。

4. 日本高校生の感想（抜粋）

◆大阪府立門真なみはや高等学校 高校生

私は今回のオンライン交流活動を通して、気づいたことは2つあります。1つ目は中国の英語のレベルが圧倒的に高かったということです。いつもの授業で聞く英語とは全く違うものでした。中国の生徒さんの話す英語は、とても速く、発音も良く、そして語彙が豊富でした。先生の力を借りなければ、内容を理解できないほどでした。気づいたことの2つ目は、会話は伝えようとする意欲が大切だということです。私の拙い英語でも、ジェスチャーを使ったり、翻訳機を使ったりして工夫して伝えました。そうすると、真剣に私たちの伝えたことを理解しようとしてくれました。伝わった時はこれ以上ない達成感に包まれました。最後に私はこの交流を経て、とても多くのことを学ばせていただきました。

◆大阪府立門真なみはや高等学校 高校生

英語は世界の人たちと心を通い合やすことのできる素晴らしい言語だということに気づきました。今回の交流は、中国の同学年の学生方との交流だったのですが、最初は私のつたない英語で、果たして伝わるのだろうかと不安な気持ちがありました。何かを話すたびに大きなアクションをしてくださり、ジェスチャーを作って説明をしてくださることで、今、私たちは繋がっているんだと実感することができ、本当に嬉しかったですし、何よりも本当に楽しかったです。これからも英語は必ず必要であり、世界の共通語でもあるので、より一層学びを深めてもっと多くの方と交流をしていきたいと思いました。

◆大阪府立門真なみはや高等学校 高校生

日中オンライン交流では、はじめは会話が成り立つのだろうかという不安や緊張がありました。けれども、好きな食べ物や趣味の話をしていくうちに、そういった不安な気持ちがなくなり、自分たちが話したことが相手に伝わるとすごく嬉しい気持ちになりました。交流会終了後は、同級生が「いつか会って話をしたいなあ」と言っていてとても共感しました。コロナが収束したら、今度は対面で交流したいです。

◆大阪府立門真なみはや高等学校 高校生

日中オンライン交流で私は司会を務めました。中国の高校生は、私たちの発表をしっかりと聞いてくれて、うなずいたり大きく反応もしてくれたので嬉しい気持ちになりました。また先方のプレゼンテーションのパワーポイントはとても見やすいもので、日本との違いに興味がありました。グループ交流で何よりも感動したのは、今学んでいる中国語が通じたことです。これを機に、もっと中国語の勉強を頑張ろうと思いました。

◆大阪府立門真なみはや高等学校 高校生

私は光栄にも今回のオンライン交流に参加することができました。来日して6年経ちましたが、通訳を務めるのは初めてで、緊張もしましたし興奮もしていました。交流会では本校は柔道の技を披露したり、アニメの主題歌を演奏したりしました。中国の高校は伝統舞踊や横笛の演奏をしてく

れました。お互いに自国の文化を紹介することで相互理解も深まったように思います。今回の交流は本当にうまくいきました。このような交流を重ねることで、日中友好に繋がればいいと考えます。

5. 参加者の対外発信、新聞報道等

	
2022 年 10 月 28 日（西安市鉄一中学 Wechat 公式アカウント） 中日のリーダーが合意した重要な共通認識を持続し、2022 年の中日国交正常化 50 周年を祈念して、中国教育部と日本外務省の支援・指導の下、中国教育国際交流協会及び日中友好会館の支援により、西安市鉄一中学、陝西省丹鳳中学と大阪府立門真なみはや高等学校が 2022 年 10 月 26 日に中日高校生オンライン交流を実施しました。	2022 年 10 月 28 日（西安市鉄一中学 Wechat 公式アカウント） 今回の活動では、中日の生徒がオンライン上で国の歴史や文化、高校のキャンパス文化、グループ交流では高校生の流行について話し合い、自国の特色ある生徒のパフォーマンスなどさまざまな方法で文化がぶつかり合い相互に作用することで、両国の青少年間の相互理解と友好感情を深めることができました。

実施団体名：（公財）日中友好会館